

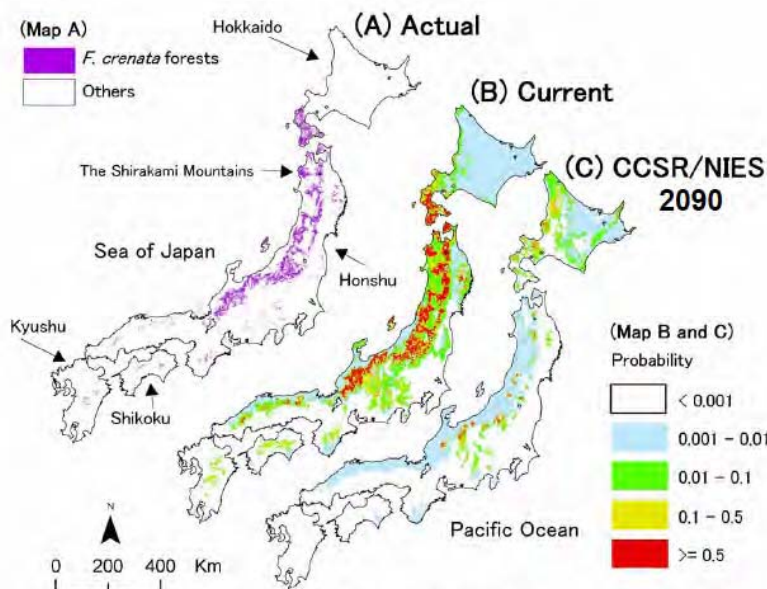
(沿岸域への影響)

「地球温暖化の日本への影響 2001」¹¹⁾によれば、1m の海面上昇が起こった場合、全国の砂浜面積の 90.3%が浸食され、また 1m の海面上昇に伴う必要な堤防の嵩上げは、外洋性の砂浜海岸では 2.8m、内海では 3.5m になると試算されている。

(ブナ林への影響)

森林総合研究所が行った日本におけるブナ林分布の予測計算によれば、2090 年に、現在と比較して 3.6°C 気温が上昇した場合、ブナ林の分布確率 50%以上の地域が約9割減少すると予測されている(Matsui et al.,2004)¹²⁾。

なお、2090 年の気温は、CCSR/NIES の GCM の予測値を、横沢らの方法でダウンスケールしたものを使っている(Yokozawa et al , 2003)¹³⁾。



(A)現状分布、(B)現状分布を計算により再現した結果、(C)2090年の分布予測結果

図 5.2 気候変動がブナ林分布に与える影響の予測